

塩浜学園の先生方と若者たちへのメッセージ（第9弾）



塩浜小学校（当時）ホワイトスクール事始め

ホワイトスクールが始まる前は、夏休み中に裏磐梯方面で林間学校を行っていました。次年度の施設をおさえる際に、当時の校長先生のお考えで実施場所を福島県にある施設に移すと決めて、早々と予約していました。

そこで、春休みに校長先生・先輩職員と一緒に下見にいきましたが、私たちが期待していた条件面（なるべく一般の方々と一緒にならないように、活動に集中できる環境を確保する）の合致がみられず、別の候補地を探すことになりました。全くの白紙となったところで、ふと、ある考えが浮かびました。「活動に集中するなら、雪の中で行うのはどうでしょう」というと、校長先生が「そうだ。そうしよう」と快諾してくれました。

しかし、それからが大変でした。計画や業者との折衝は、基本的に私が行うことになりました。学校でお世話になっている旅行業者さんに事情を説明して候補地を探してもらい、冬季の町おこしの一環にしたいと名乗りを上げていた「たかつえスキー場」が候補地となりました。そこは、私自身が初心者を連れて行った経験があったスキー場だったのでグレンデや施設のイメージがつきやすかったのも選んだ理由の一つです。結果的に、今も「たかつえスキー場」とのつながりが続いていることをとても嬉しく思っています。

候補地が決まったら、次は学校向け・保護者向け・児童向けの資料作りが必要でした。手元に引用できるような資料がなく、その当時、市内でホワイトスクールを実施していたほんの数校の内の一校であった真間小学校にお願いして資料をいただき、何とか作成することができました。自ら資料を取りに伺ったこと、昨日のこのように覚えています。

こうして、少しずつ形が整ってきました。しかし、道のりは更に険しいものでした。

例年実施していた「林間学校」を「ホワイトスクール」に変更することについて、校内の教職員の理解を得ることが難しかったのです。中には、猛反対される方もいました。反対する理由は、そもそも学校行事でスキーに連れて行くななんておかしい・・・との意見でした。市内ではほとんど実績がなかったために、反対も予想していましたが、この方々に

理解していただくのは一苦労でした。ちなみに、一番反対していた職員は、次の年ホワイトスクールに行くと「ホワイトスクール、最高」と言っていました。(笑)

実施時期は、1月の早い時期としました。当時冬の流行が当たり前だったインフルエンザがはやる前に実施したかったからです。

その後は、保護者向けの説明会を実施しました。「費用をなるべく抑える」というミッション(ねらい)があったため工夫をしました。2クラスでもバス1台で全員(児童・引率職員合わせて60名弱)が乗れる座席数が多いバスを使用しました。(今のコロナ禍ではあり得ない対応ですね・・・)加えて、夏季の林間学校とは違い、3日間ではなく往復の2日間の利用なので安くなりました。さらに、冬季はバスの料金が安くなっていました。福島県のバス業者を利用すれば、現地では冬季は需要が少ないので特に割安になりました。(今年も復興支援という名目で、福島県へのバス旅行には補助金をいただいています。)他にも費用をおさえる工夫をしたためか、保護者からは賛成意見を多数いただきました。

ここまで計画が順調に行くと、次は児童の準備に入りました。まずは業者の方に来ていただいて、スキー板やスキーウェアのサイズ合わせを体育館に用具類を広げて行いました。また、スキー以外にもプログラムを追加しようと、様々な体験を検討しました。夏休みには現場を下見してホテルやスキースクールの方との打ち合わせ、冬休みにもスキー場を下見してホワイトスクールに備えました。1回の校外学習のために3回(春・夏・冬)も下見をしたのは、この1回だけです。

初めてのホワイトスクールは、手探り状態で計画から準備まで行い何とか実施までこぎつけましたが、本番も簡単には終わりませんでした。予想外のトラブルが起こり、対応しました。ただ、それらも忘れられない思い出です。児童もホワイトスクールを満喫していたようで、ほとんどの児童が昼間の活動量から夜は疲れ切ってすぐに寝てしまうし、スクールが始まる前は声を掛けなくても集合してスキーを楽しんでいました。どんどん上達していき、意欲的にスキーを楽しんでいました。

子供達と雪の中で過ごすことが出来た「ホワイトスクール」は、今振り返ると、本当に良かったと思っています。